

2024年度 新入社員の意識調査 結果

1 はじめに

当社では、OKB総研主催の新入社員研修会の受講者を対象に意識調査を実施している。29回目となる今年度は、例年の質問に加えて、「新入社員の推し活事情」について調査した。

2 調査概要

本調査の概要は下表の通りである。

- (1) 調査対象：岐阜県・愛知県等の企業248社の新入社員
- (2) 調査時期：2024年3月29日～4月5日
- (3) 調査方法：OKB総研主催の新入社員研修会受講者(801人)に無記名方式で実施
- (4) 有効回答者数：438人(有効回答率54.7%)
- (5) 回答者属性(下表のとおり)

	全体	男性	女性	回答しない	
有効回答者数	438名	243名	191名	4名	
平均年齢	21.6歳	21.7歳	21.5歳	22.5歳	
最終学歴	高校卒業	27.6%	26.3%	29.8%	0.0%
	専門学校卒業	13.2%	11.1%	15.7%	25.0%
	短期大学卒業	5.9%	4.5%	7.9%	0.0%
	4年制大学卒業	50.0%	53.5%	45.5%	50.0%
	その他	3.2%	4.5%	1.0%	25.0%
居住地	岐阜県	48.9%	49.4%	47.6%	75.0%
	愛知県	42.2%	42.4%	42.4%	25.0%
	三重県	1.1%	1.2%	1.0%	0.0%
	滋賀県	1.1%	1.2%	1.0%	0.0%
	その他	6.6%	5.8%	7.9%	0.0%
業種	製造業	32.0%	33.3%	30.4%	25.0%
	卸売業、小売業	18.5%	18.1%	18.8%	25.0%
	建設業	17.8%	21.0%	13.6%	25.0%
	医療・福祉	8.7%	7.4%	10.5%	0.0%
	サービス業	7.3%	4.1%	11.0%	25.0%
	その他	15.7%	16.1%	15.7%	0.0%

(*) 端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある(以下同じ)。

3 今年の新入社員像

(1) 地元就職とUターン就職

「地元就職」が65.3%

「あなたは地元就職・Uターン就職・その他のうち、どれにあてはまりますか」と尋ねたところ、「地元就職」が65.3%で最も高く、前回調査(2023年度)の64.8%からほぼ横ばいだった。「Uターン就職」は17.1%だった(図表1)。

男女別に見ると、地元就職は男性

が62.1%、女性が70.7%だった。Uターン就職は男性が18.1%、女性が15.2%だった。

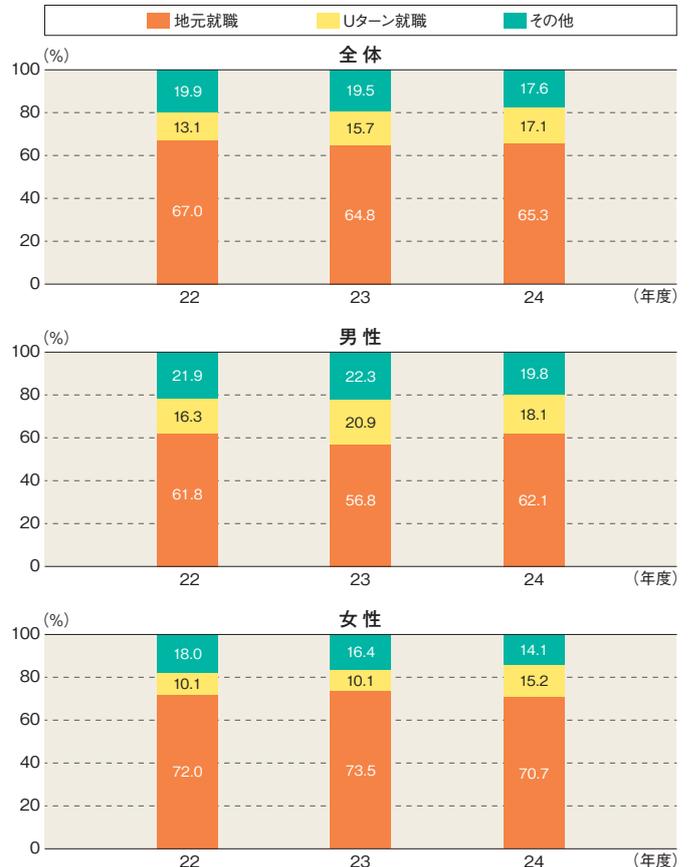
(2) 就職先の選択基準

「休日・勤務時間」が上昇傾向

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」(52.5%)、2位は「雰囲気・イメージ」(43.2%)、3位は「休日・勤務時間」(35.6%)となった(図表2)。

ここ10年の傾向を見ると、「業種・

図表1 地元就職とUターン就職



事業内容」は首位を維持しているものの、緩やかに低下している。一方、「休日・勤務時間」は、振れを伴いながらも緩やかな上昇傾向にある。

男女別に見ると、女性は男性に比べて「雰囲気・イメージ」は11.3ポイント、「勤務地・通勤時間」は12.8ポイント上回っている。

(3) 将来就きたい地位

「一般社員志向」が初めてトップに

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか(1つだけ選択)」と尋ねたところ、1位は「一般社員のままだよ(以下：一般社員志向)」で28.1%、次いで「特殊能力・技能のあるスペシャリスト社員(以下：スペシャリスト志向)」が24.9%、「部長・課長・

主任などの肩書のある管理職(以下、管理職志向)」が20.3%となった(図表3)。

ここ10年で「スペシャリスト志向」は低下傾向、「一般社員志向」は上昇傾向にあり、今回初めて「一般社員志向」が「スペシャリスト志向」を上回り、1位となった。

男女別に見ると、男性は「管理職志向」が28.8%で最も高くなった。次いで「スペシャリスト志向」が23.0%で、前回から11.5ポイント低下し、「管理職志向」と順位が入れ替わった。

女性は「一般社員志向」が44.0%と最も高く、次いで「スペシャリスト志向」が26.7%となった。「スペシャリスト志向」の低下傾向および「一般社員志向」の上昇傾向は、女性において顕著となっている。

(4) 上司・先輩との人間関係

「ほほど派」が約6割でトップ

「上司・先輩との人間関係はどのように考えていますか(1つだけ選択)」と尋ねたところ、「義理を欠かない程度(以下：ほほど派)」が59.8%で最も高く、次いで「プライベートも含め積極的に(以下：積極派)」が29.7%となった(図表4)。

男女別に見ると、男性は「ほほど派」が53.9%で前回から6.3ポイント低下した一方、「積極派」は37.4%で前回から7.3ポイント上昇し、両者の差は縮小した。

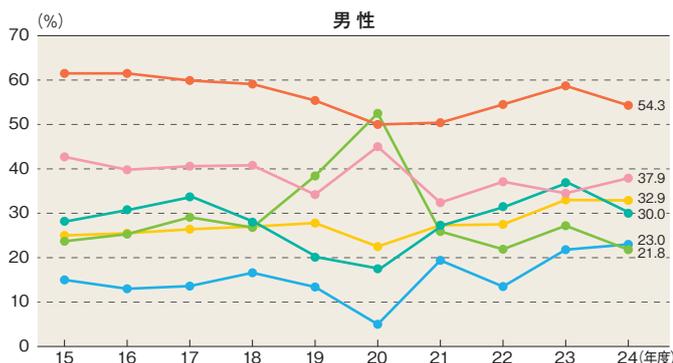
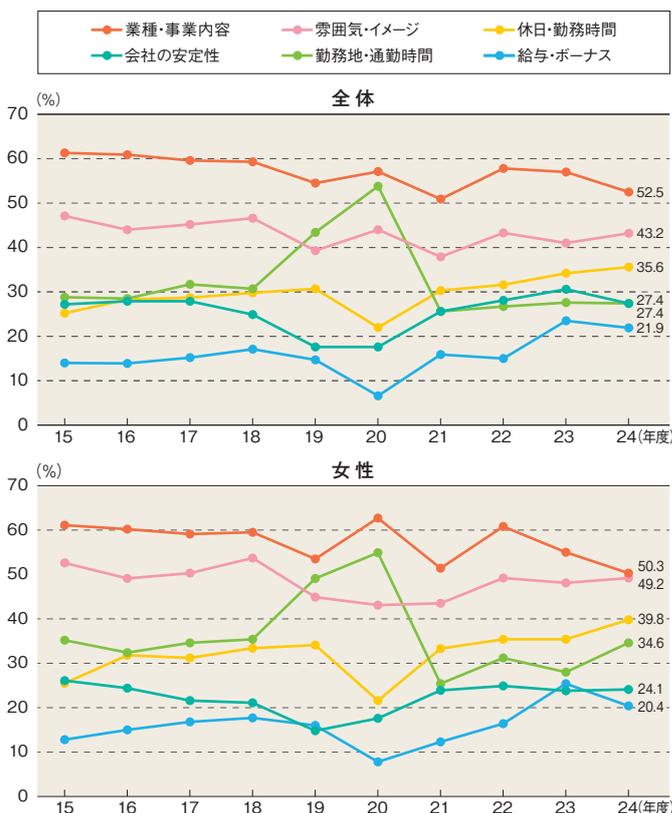
一方、女性は「ほほど派」が67.0%、「積極派」は19.9%で、いずれも前回からほぼ横ばいとなった。

図表2 就職先の選択基準 ※複数回答

就職先の選択基準(全体、16項目)

順位	項目	回答割合	前回差
1	業種・事業内容	52.5%	▲4.5
2	雰囲気・イメージ	43.2%	+2.2
3	休日・勤務時間	35.6%	+1.4
4	会社の安定性	27.4%	▲3.2
5	勤務地・通勤時間	27.4%	▲0.2
6	給与・ボーナス	21.9%	▲1.6
7	自分自身の成長	15.5%	+2.3
8	福利厚生	14.8%	+4.4
9	社員・人事担当者の対応	14.8%	+2.1
10	会社の将来性	11.6%	▲1.8
11	会社の規模	6.8%	+0.7
12	親または学校の推薦	5.9%	▲2.5
13	SDGsなど社会貢献意識の強さ	2.3%	+1.8
14	会社の知名度	1.6%	▲1.4
15	柔軟な働き方(テレワークなど)への対応	1.4%	+0.1
16	その他	1.6%	+0.8

就職先の選択基準(上位6項目の推移)



(※)2020年度は新型コロナウイルスの影響で例年に比し回答数が少ない。

(5)入社の際の不安

「社会常識・マナー」が上昇傾向

「入社にあたって不安に思うことは何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「上司・先輩との人間関係」(60.3%)、2位は「業界知識・業務内容」(53.7%)、3位は「社会常識・マナー」(50.0%)となった(図表5)。

男女別に見ると、「電話の応対」は女性が男性を18.9ポイント上回っている。

また、ここ10年の傾向を見ると、「社会常識・マナー」は男女ともに振れを伴いながらも上昇傾向にある。

(6)働く目的

「自分の成長のため」がトップ

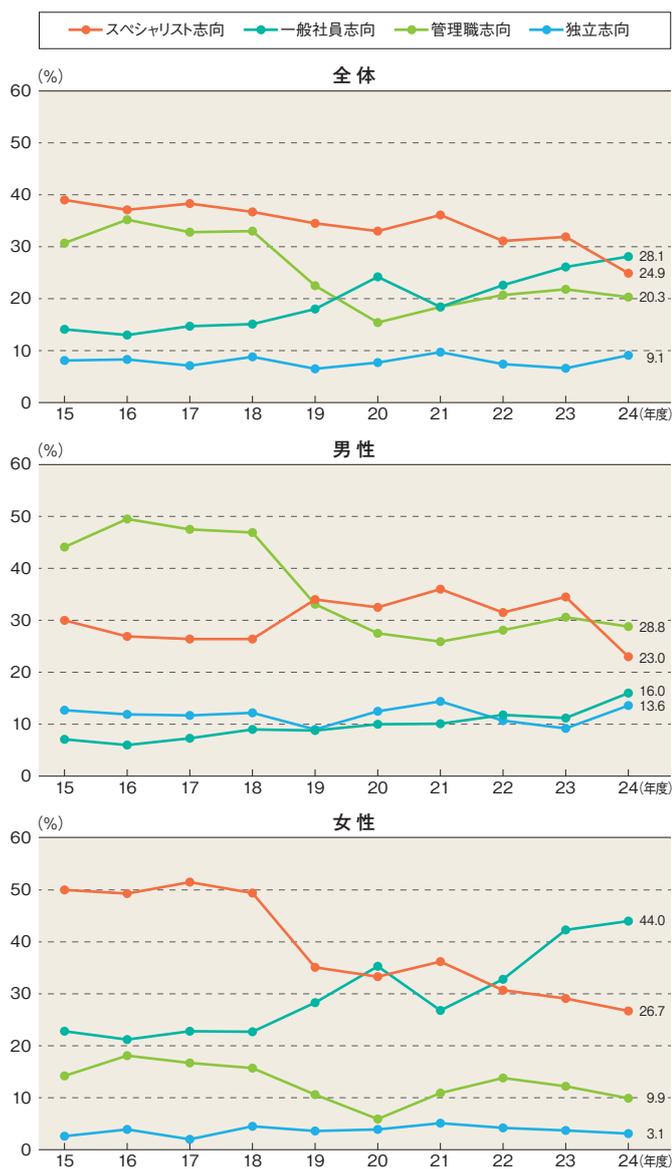
「あなたが働く目的は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「自分の成長のため」(61.4%)、2位は「収入を得て安定した生活を送り

たい」(56.4%)、3位は「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(47.3%)となった(図表6)。

男女別に見ると、男性は「自分の成長のため」(67.9%)が最も高く、次いで「収入を得て安定した生活を送りたい」(51.4%)、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(41.2%)となった。「自分の成長のため」は女性を15.5ポイント上回っている。

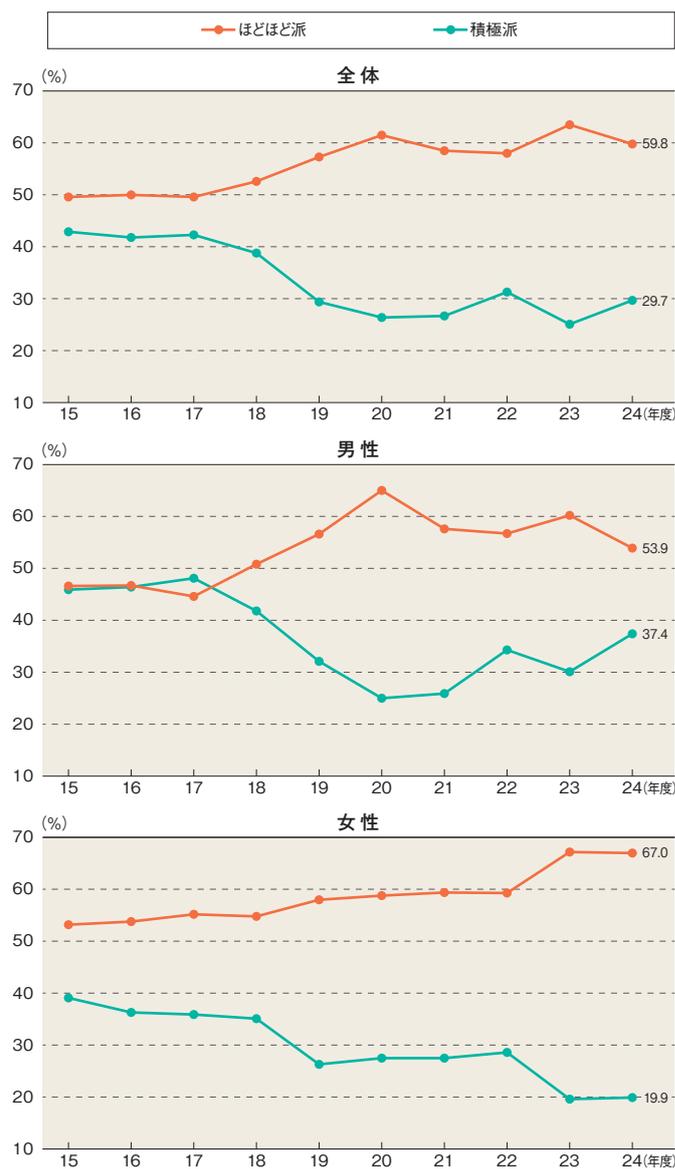
女性は「収入を得て安定した生活

図表3 将来就きたい地位(わからないを除いた項目の推移)



(*) 2020年度は新型コロナウイルスの影響で例年に比し回答数が少ない。

図表4 上司・先輩との人間関係(上位2項目の推移)



(*) 2020年度は新型コロナウイルスの影響で例年に比し回答数が少ない。

を送りたい」(62.8%)が最も高く、次いで「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(55.5%)、「自分の成長のため」(52.4%)となった。「収入を

得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から13.7ポイント上昇し、2位となった。男性と比べると、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は

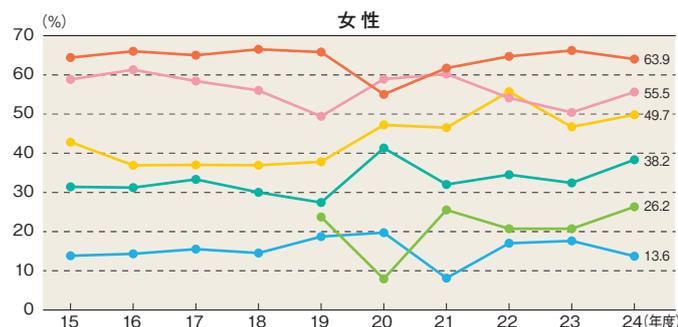
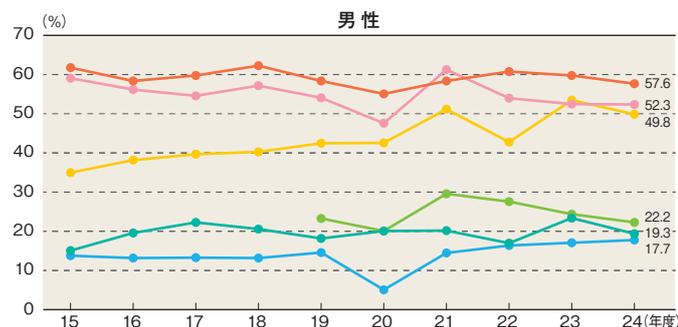
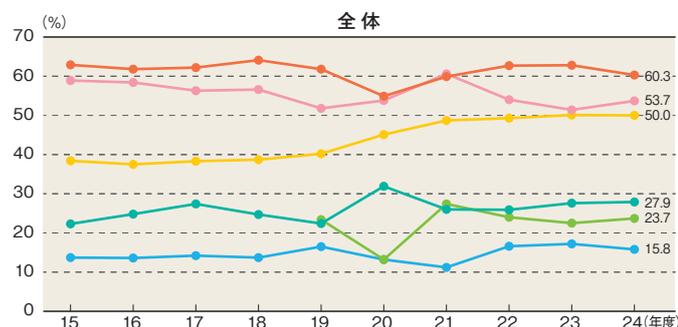
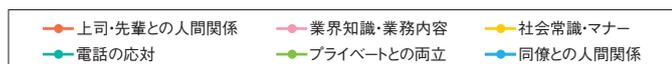
14.3ポイント、「収入を得て安定した生活を送りたい」は11.4ポイント上回っている。

図表5 入社の際の不安 ※複数回答

入社の際の不安(全体、11項目)

順位	項目	回答割合	前回差
1	上司・先輩との人間関係	60.3%	▲2.5
2	業界知識・業務内容	53.7%	2.3
3	社会常識・マナー	50.0%	▲0.1
4	電話の応対	27.9%	0.3
5	プライベートとの両立	23.7%	1.2
6	同僚との人間関係	15.8%	▲1.4
7	規則的な生活	15.5%	3.9
8	パソコン・オフィス機器の使い方	12.6%	▲0.1
9	機械の使い方	12.1%	▲1.1
10	健康	11.2%	0.3
11	その他	0.2%	▲0.6

入社の際の不安(上位6項目の推移)



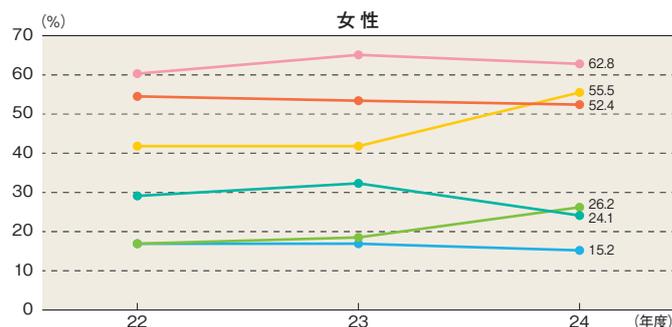
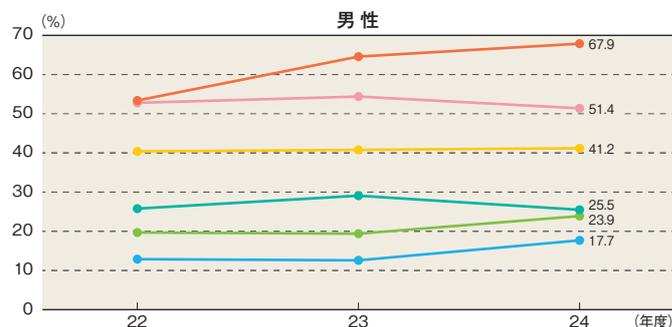
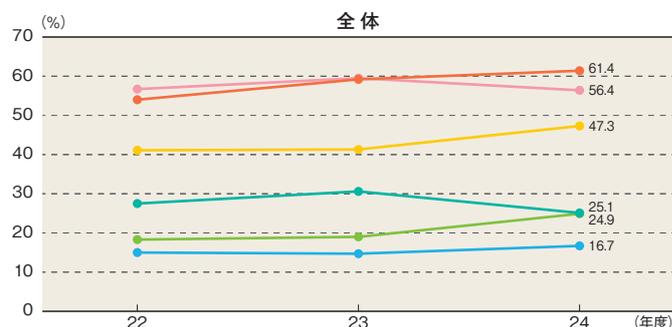
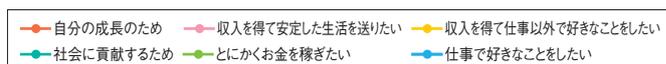
(※)2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない。

図表6 働く目的 ※複数回答

働く目的(全体、10項目)

順位	項目	回答割合	前回差
1	自分の成長のため	61.4%	2.2
2	収入を得て安定した生活を送りたい	56.4%	▲3.1
3	収入を得て仕事以外で好きなことをしたい	47.3%	6.0
4	社会に貢献するため	25.1%	▲5.5
5	とにかくお金を稼ぎたい	24.9%	5.9
6	仕事で好きなことをしたい	16.7%	2.0
7	キャリアアップのため	15.3%	▲1.2
8	社会で活躍するため	11.9%	0.8
9	高い地位を得るため	3.2%	▲1.1
10	その他	0.9%	▲2.1

働く目的(上位6項目の推移)



(7) 初給与の使い道

「預金する」がトップ

「初給与はどのように使いますか(2つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「預金する」(52.3%)、2位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」(44.1%)となった(図表7)。

男女別に見ると、男女ともに「預金

する」が最も高く、次いで「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」となった。

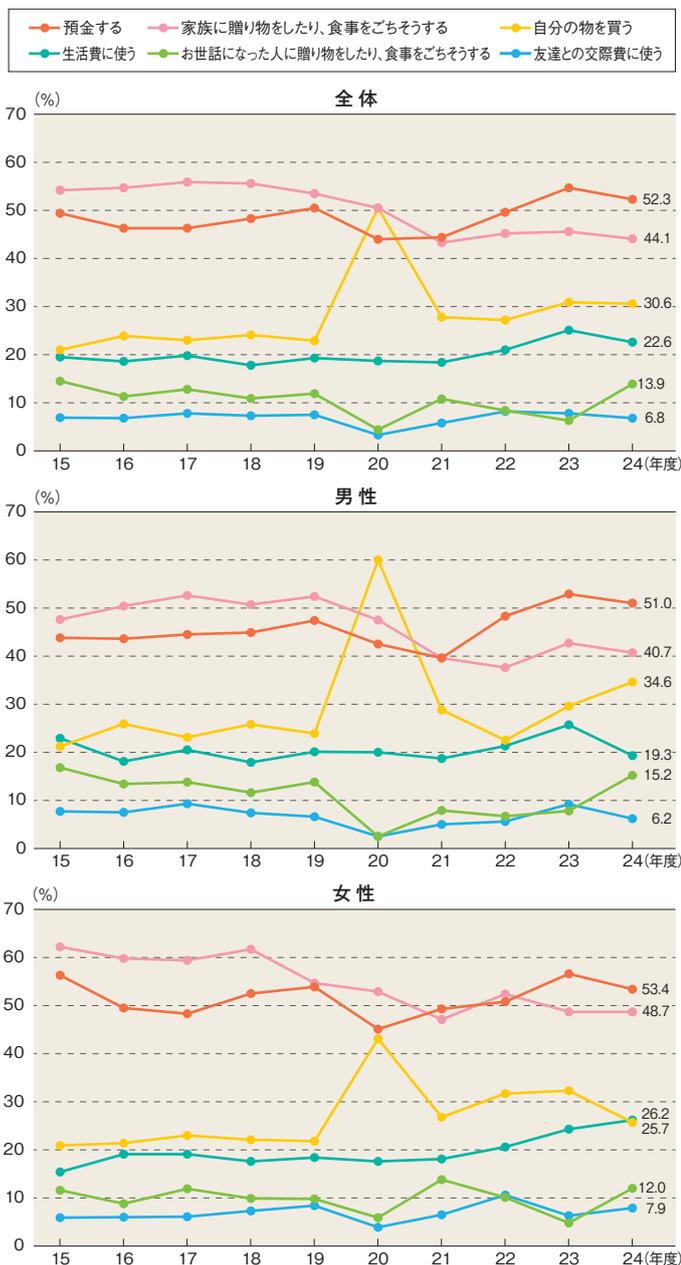
(8) 利用したい働き方

女性の7割以上が「短時間勤務制度」・「在宅勤務」・「フレックスタイム」を利用したいと回答

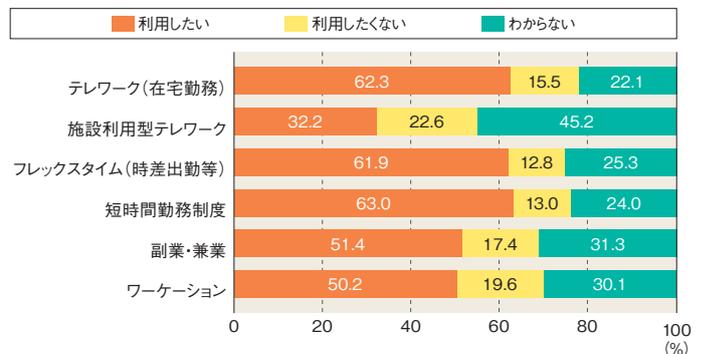
利用したい働き方について尋ねたところ、「施設利用型テレワーク」を除く働き方について、半数以上が「利用したい」と回答した。「利用したい」の回答率が最も高いのは「短時間勤務制度」(63.0%)、次いで「テレワーク(在宅勤務)」(62.3%)だった(図表8)。

男女別に見ると、女性において、

図表7 初給与の使い道(上位6項目の推移) ※複数回答



図表8 利用したい働き方



図表9 「利用したい」の割合(男女別)

(%, %ポイント)

	全体		
	2023年度	2024年度	前回差
テレワーク(在宅勤務)	58.5	62.3	+ 3.8
施設利用型テレワーク	30.6	32.2	+ 1.6
フレックスタイム(時差出勤等)	55.2	61.9	+ 6.7
短時間勤務制度	61.8	63.0	+ 1.2
副業・兼業	43.5	51.4	+ 7.9
ワーケーション	46.8	50.2	+ 3.4

	男性		
	2023年度	2024年度	前回差
テレワーク(在宅勤務)	53.4	52.3	▲ 1.1
施設利用型テレワーク	31.1	31.7	+ 0.6
フレックスタイム(時差出勤等)	51.9	53.1	+ 1.2
短時間勤務制度	58.3	49.8	▲ 8.5
副業・兼業	41.7	46.1	+ 4.4
ワーケーション	46.6	48.6	+ 2.0

	女性		
	2023年度	2024年度	前回差
テレワーク(在宅勤務)	64.0	74.3	+ 10.3
施設利用型テレワーク	30.2	31.9	+ 1.7
フレックスタイム(時差出勤等)	58.7	72.8	+ 14.1
短時間勤務制度	65.6	80.1	+ 14.5
副業・兼業	45.5	57.1	+ 11.6
ワーケーション	47.1	51.8	+ 4.7

(※)2020年度は新型コロナウイルスの影響で例年に比し回答数が少ない。

「テレワーク（在宅勤務）」では74.3%、「フレックスタイム（時差出勤等）」では72.8%、「短時間勤務制度」では80.1%が「利用したい」と回答しており、男性を上回っている。また、前回と比べると、「テレワーク（在宅勤務）」は+10.3ポイント、「フレックスタイム（時差出勤等）」は+14.1ポイント、「短時間勤務制度」は+14.5ポイント、「副業・兼業」は+11.6ポイント上昇しており、これらの働き方は特に女性において利用意欲が高まっている（図表9）。

(9)理想の上司

「内村光良」が初の1位

今年度の新入社員に、「あなたの理想の上司とはどんなタイプですか。著名人・有名人に例えて1人だけお答え下さい（自由回答）」と尋ねたところ、全体ランキングではタレントの「内

村光良」が、1997年度に理想の上司に関する調査を開始して以降、初めて1位となった。選んだ理由については、「優しそう」、「親しみやすそう」、「相手の意見や考え方に耳を傾けるというイメージがある」などの意見が寄せられ、男女問わず支持を集めた。

2位はメジャーリーガーの「大谷翔平」で、男性からの票が多かった。選んだ理由については、「実力も技術もあり、誰にでも優しく笑顔を絶やさないういため」、「努力を惜しまない姿がかっこいい」などの意見が寄せられた。

男女別ランキングでは、男性が選んだトップ3は1位が「大谷翔平」、2位は「内村光良」となった。3位は漫画「ドラゴンボール」のキャラクター「フリーザ」で、男性ランキングにおいて初めてトップ3入りした。女性が選んだトップ3は1位が「水ト麻美」、2位が「内村光良」、3位は同率で「アンミカ」「櫻井翔」となった。「アンミカ」は

女性ランキングにおいて初めてトップ3入りした（図表10）。（敬称略）

4 新入社員の推し活事情

(1)推しの有無

「現在いる」が66.7%

「あなたには、『推し』がいますか」と尋ねたところ、「現在いる」が66.7%、「以前はいたが、今はない」が9.8%、「いたことはない」が23.5%となった（図表11）。

男女別に見ると、「現在いる」は女性が75.4%と、男性の60.1%に比べて高くなっている。

(2)推しのジャンル

「アニメ・マンガ・ゲーム」がトップ
次いで「YouTuber・VTuber」

図表10 理想の上司（敬称略）

	順位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	1	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	水ト麻美	内村光良
	2	イチロー	水ト麻美	天海祐希	大谷翔平	大谷翔平
	3	松岡修造	天海祐希	内村光良	明石家さんま	水ト麻美
	4	内村光良	内村光良	櫻井翔	内村光良	明石家さんま
	5	水ト麻美	イチロー	水ト麻美	天海祐希 志村けん	櫻井翔、志村けん、 フリーザ、ムロツヨシ
男性新入社員	1	イチロー	明石家さんま	松本人志	志村けん	大谷翔平
	2	明石家さんま	イチロー	明石家さんま	明石家さんま	内村光良
	3	松岡修造	阿部寛	イチロー	大谷翔平	フリーザ
	4	内村光良	松岡修造	内村光良	内村光良	明石家さんま、志村けん、 ムロツヨシ
	5	所ジョージ	松本人志	志村けん	栗山英樹	
女性新入社員	1	水ト麻美	水ト麻美	天海祐希	水ト麻美	水ト麻美
	2	明石家さんま	天海祐希	水ト麻美	天海祐希	内村光良
	3	松岡修造	内村光良	明石家さんま	櫻井翔	アンミカ 櫻井翔
	4	天海祐希	明石家さんま	内村光良	大谷翔平	天海祐希 渡辺直美
	5	内村光良	櫻井翔	櫻井翔	明石家さんま	

(*) 網掛けは2024年度全体で回答率が高かった上位3位までの人。2020年度については新型コロナウイルスの影響で回答数が少なかったため集計していない。

推しが「現在いる」「以前はいたが、今はいない」と回答した人に、「あなたの推しのジャンルはどれですか」と尋ねたところ、「アニメ・マンガ・ゲーム」が37.9%で最も高く、次いで「YouTuber・VTuber」が25.7%、「ミュージシャン・アーティスト」が22.7%となった(図表12)。

男女別に見ると、男女ともに「アニメ・マンガ・ゲーム」が最も高くなった。また、「俳優・モデル」、「K-POPアイドル・韓流俳優」は女性が男性を10ポイント超上回っている一方、「YouTuber・VTuber」は男性が女性を10ポイント超上回っている。

(3) 推し活の経験

「現在している」が42.5%

「あなたは、『推し活』をしていますか」と尋ねたところ、「現在している」が42.5%、「以前はしていたが、今はしていない」が15.8%、「したことはない」が41.8%となった(図表13)。

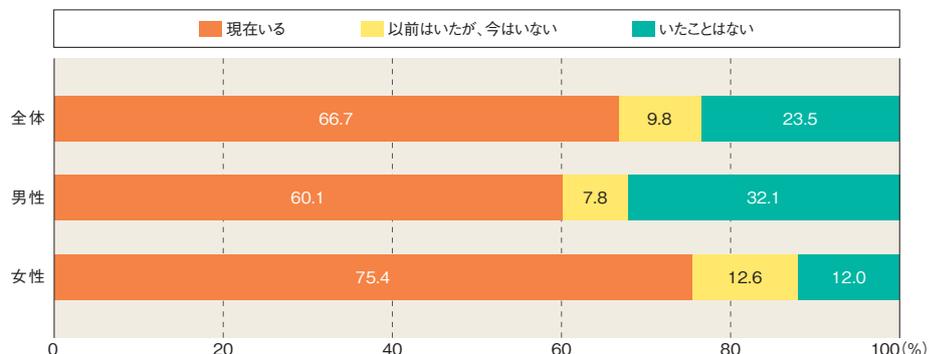
男女別に見ると、「現在している」は女性が57.6%と、男性の30.5%に比べて20ポイント以上高くなっている。

(4) 推し活の費用

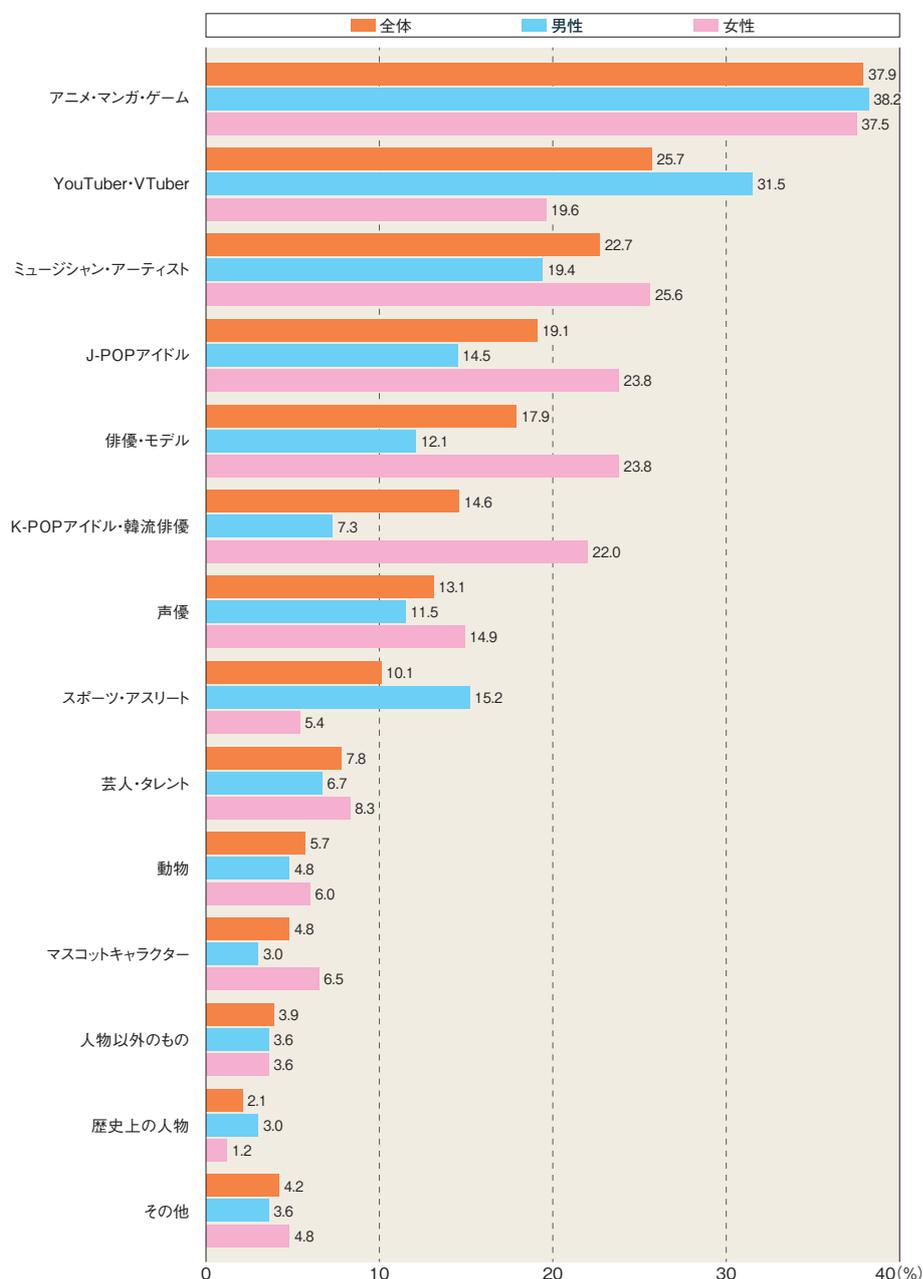
「5千円未満」が30.2%

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答した人に、「推し活にかかる費用は月平均でどれくらいですか」と尋ねたところ、「5千円未満」が30.2%で最も高く、次いで「5千円以上1万円未満」が29.4%、「1万円以上3万円未満」が19.2%となった(図表14)。

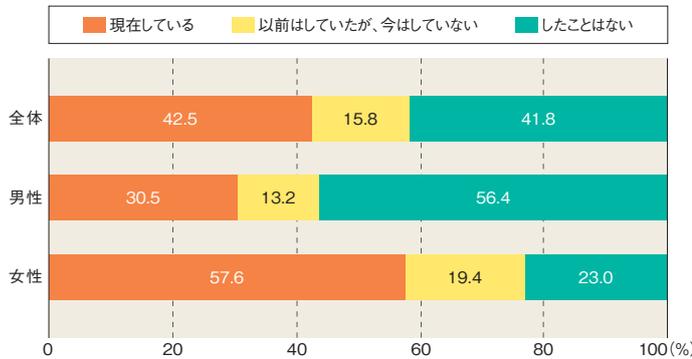
図表11 推しの有無



図表12 推しのジャンル ※複数回答



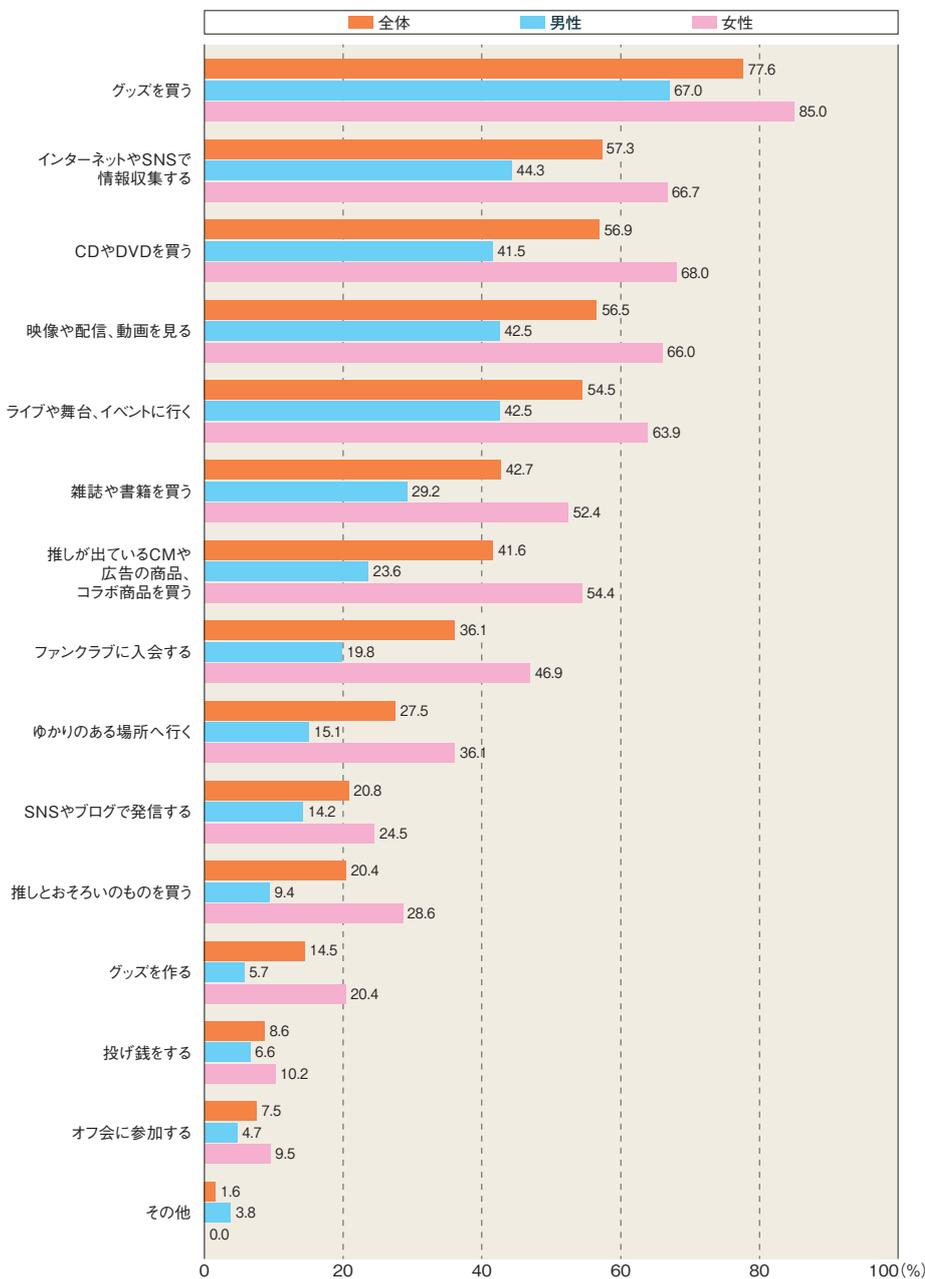
図表13 推し活の経験



図表14 推し活の費用

	5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	お金は使わない
全体	30.2	29.4	19.2	7.5	3.9	1.6	8.2
男性	32.1	29.2	18.9	1.9	2.8	0.9	14.2
女性	28.6	29.9	19.0	11.6	4.8	2.0	4.1

図表15 具体的な推し活 ※複数回答



男女別に見ると、男性は「5千円未満」(32.1%)、女性は「5千円以上1万円未満」(29.9%)が最も高くなった。「1万円以上」との回答は、女性が37.4%と、男性の24.5%に比べて高くなっている。

(5) 具体的な推し活

「グッズを買う」がトップ

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答した人に、「あなたがしたことがある推し活はどれですか」と尋ねたところ、「グッズを買う」が77.6%で最も高く、次いで「インターネットやSNSで情報収集する」が57.3%、「CDやDVDを買う」が56.9%となった(図表15)。

男女別に見ると、男女ともに「グッズを買う」が最も高くなった。また、「投げ銭をする」と「オフ会に参加する」を除く項目において、女性が男性を10ポイント超上回っている。

(6) 推し活への興味

“ある”が28.5%

推し活を「したことはない」と回答し

た人に、「あなたは推し活に興味がありますか」と尋ねたところ、「大いにある」は7.7%、「少しある」は20.8%、「あまりない」は39.9%、「全くない」は31.7%となった。「大いにある」と「少しある」を合わせた割合は28.5%となった(図表16)。

男女別に見ると、「大いにある」と「少しある」を合わせた割合は、男性が26.2%、女性が36.3%となった。

(7) 推し活のメリット

「仕事や日常生活のモチベーションになる」がトップ

「推し活のメリットは何だと思えますか」と尋ねたところ、「仕事や日常生活のモチベーションになる」が60.5%で最も高く、次いで「人生が豊かになる」が59.4%、「気持ちが癒される」が57.1%となった(図表17)。

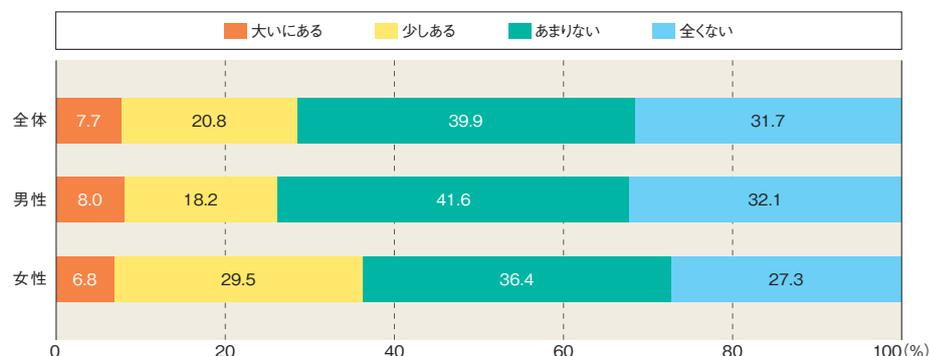
男女別に見ると、「現実を忘れられる」と「知識や経験が増える」を除く項目において、女性が男性を10ポイント超上回っている。

(8) 推し活と仕事

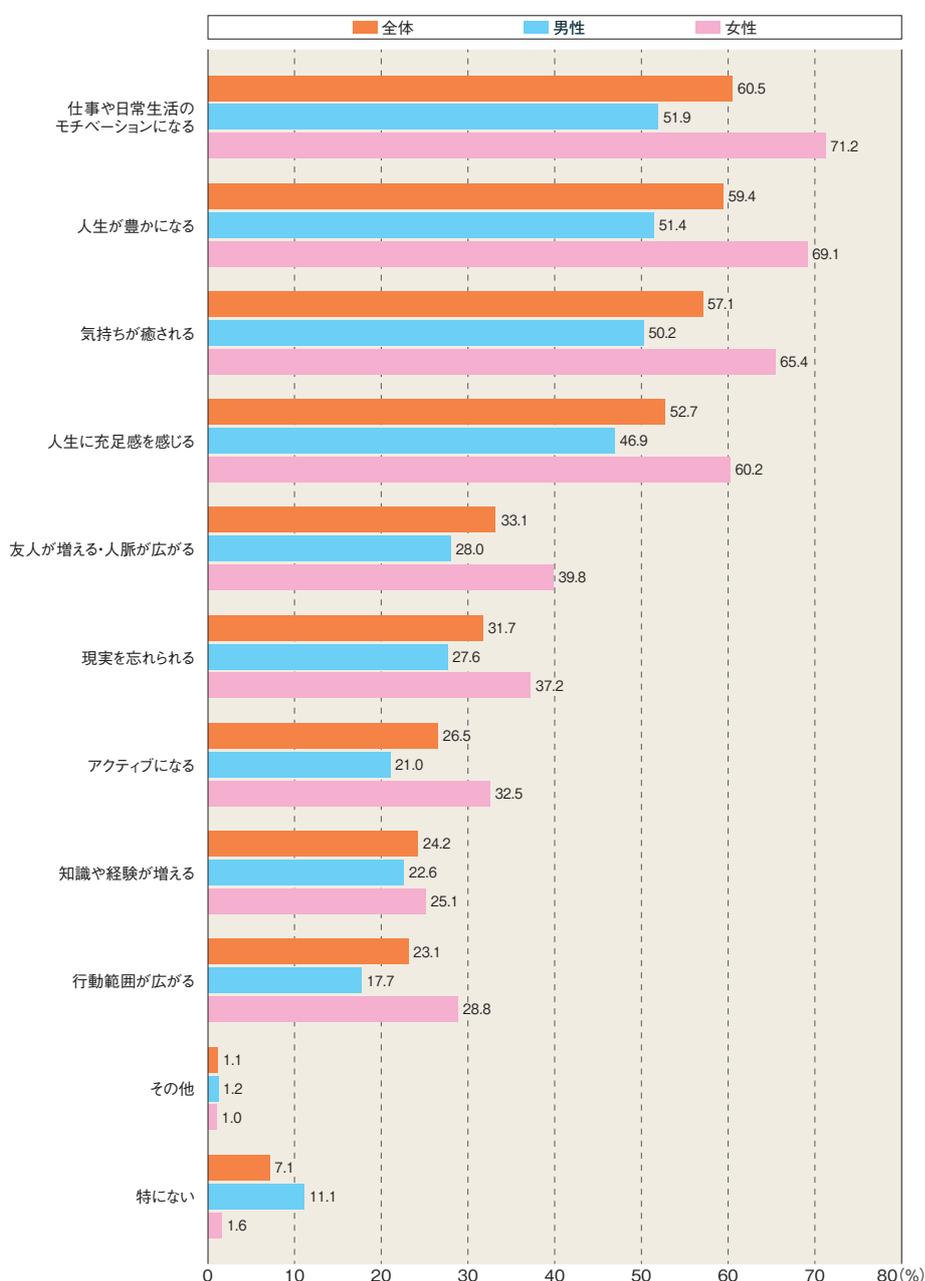
「推し活のために有給休暇を使いたい」や「仕事が忙しくても推し活を続けたい」は7割が“あてはまる”と回答

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答した人に、(A)～(I)について尋ねたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合は、「(H)仕事が忙しくても推し活を続けたい」が74.2%で最も高く、次いで「(D)推し活のために有給休暇を使いたい」が

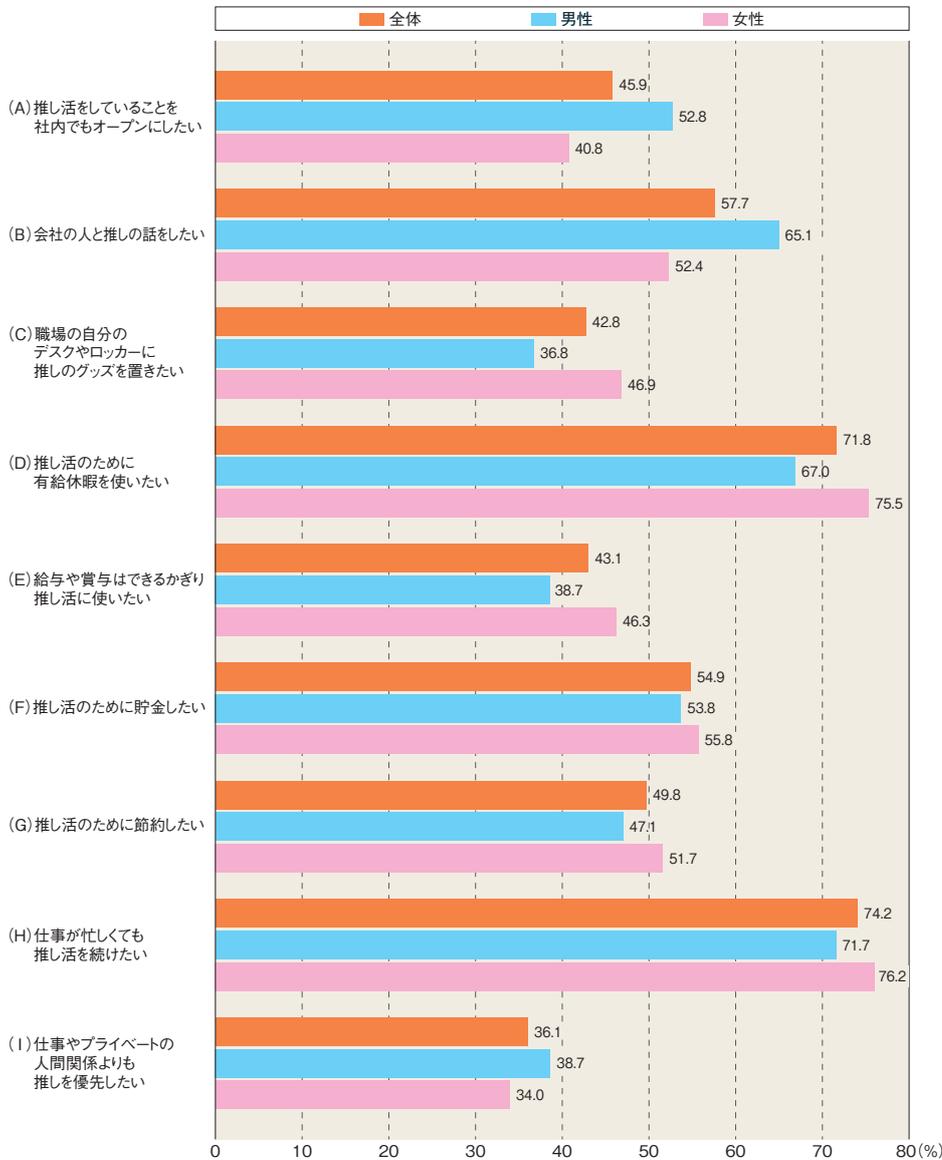
図表16 推し活への興味



図表17 推し活のメリット ※複数回答



図表18 推し活と仕事



(*)「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合

図表19 推し活と仕事に関する因子分析

因子負荷量	第1因子	第2因子	第3因子
	推し活優先因子	社内オープン因子	仕事と両立因子
(I) 仕事やプライベートの人間関係よりも推しを優先したい	0.57	0.12	0.40
(E) 給与や賞与はできるかぎり推し活に使いたい	0.66	0.13	0.45
(F) 推し活のために貯金したい	0.81	0.24	0.33
(G) 推し活のために節約したい	0.88	0.23	0.32
(A) 推し活をしていることを社内でもオープンにしたい	0.23	0.82	0.17
(B) 会社の人と推し活の話をしたい	0.08	0.89	0.13
(C) 職場の自分のデスクやロッカーに推し活のグッズを置きたい	0.40	0.51	0.28
(D) 推し活のために有給休暇を使いたい	0.31	0.19	0.72
(H) 仕事が忙しくても推し活を続けたい	0.41	0.23	0.66
二乗和	2.67	1.95	1.64
寄与率	0.30	0.22	0.18

(*)1 因子負荷量が0.5以上のものに彩色 (*2) 回転手法はバリマックス法

71.8%となった(図表18)。

男女別に見ると、「(A) 推し活をしていることを社内でもオープンにしたい」と「(B) 会社の人と推し活の話をしたい」は男性が女性を10ポイント超上回っている一方、「(C) 職場の自分のデスクやロッカーに推し活のグッズを置きたい」は女性が男性を10ポイント超上回っている。

また、(A)～(I)について、因子数を3として因子分析(注1)を行い、得られた因子負荷量(注2)から各因子の内容を解釈し、「推し活優先因子」、「社内オープン因子」、「仕事と両立因子」と名付けた(図表19)。

さらに、因子分析で得られた因子得点(注3)を用いてクラスター分析(注4)を行い、推し活経験のある新入社員を4つのタイプに分類した。全ての得点が高いタイプは「積極層」、全ての得点が低いタイプは「非積極層」、社内オープン因子のみが低いタイプは「こっそり層」、推し活優先因子が低く、仕事と両立因子が高いタイプは「両立層」とした(図表20)。構成比としては、積極層が38.8%で最も多く、

図表20 推し活と仕事に関するクラスター分析

クラスター区分	構成比	推し活優先因子	社内オープン因子	仕事と両立因子
積極層	38.8%	0.60	0.77	0.24
非積極層	22.0%	-0.49	-0.39	-1.43
こっそり層	16.5%	0.98	-1.20	0.56
両立層	22.7%	-1.27	-0.06	0.58

(*)1 非階層クラスター分析(k-means法) (*2) 数値は因子得点の基準化平均値

図表21 推し活と仕事に関するタイプ別クロス集計

(%)

	全体	積極層 38.8%	非積極層 22.0%	こっそり層 16.5%	両立層 22.7%	
性別	男性	41.6	44.4	46.4	31.0	39.7
	女性	57.6	54.5	51.8	69.0	60.3
	回答しない	0.8	1.0	1.8	0.0	0.0
推しのジャンル*	アニメ・マンガ・ゲーム	41.0	37.4	37.7	57.1	38.6
	YouTuber・VTuber	28.3	24.2	26.4	33.3	33.3
	ミュージシャン・アーティスト	23.5	25.3	9.4	19.0	36.8
	J-POPアイドル	20.7	23.2	13.2	21.4	22.8
	俳優・モデル	17.5	19.2	20.8	9.5	17.5
	K-POPアイドル・韓流俳優	17.5	16.2	32.1	7.1	14.0
	声優	13.9	19.2	7.5	11.9	12.3
	芸人・タレント	8.0	7.1	9.4	2.4	12.3
	スポーツ・アスリート	6.0	5.1	5.7	4.8	8.8
	動物	5.6	5.1	3.8	7.1	7.0
	マスコットキャラクター	5.2	7.1	1.9	9.5	1.8
	人物以外のもの(鉄道、建築物、刀剣、仏像など)	4.4	7.1	1.9	2.4	3.5
	歴史上の人物	1.6	1.0	3.8	2.4	0.0
	その他	4.8	4.0	1.9	4.8	8.8
推し活経験	現在している	72.9	85.9	39.3	81.0	77.6
	以前はしていたが、今はしていない	27.1	14.1	60.7	19.0	22.4
推し活費用	5千円未満	30.2	20.2	39.3	16.7	48.3
	5千円以上1万円未満	29.4	34.3	26.8	21.4	29.3
	1万円以上3万円未満	19.2	26.3	5.4	31.0	12.1
	3万円以上5万円未満	7.5	6.1	5.4	16.7	5.2
	5万円以上10万円未満	3.9	6.1	0.0	9.5	0.0
	10万円以上	1.6	2.0	1.8	2.4	0.0
	お金は使わない	8.2	5.1	21.4	2.4	5.2
具体的な推し活*	グッズを買う	77.6	84.8	64.3	83.3	74.1
	インターネットやSNSで情報収集する	57.3	60.6	32.1	81.0	58.6
	CDやDVDを買う	56.9	61.6	39.3	69.0	56.9
	映像や配信、動画を見る	56.5	59.6	32.1	71.4	63.8
	ライブや舞台、イベントに行く	54.5	59.6	30.4	59.5	65.5
	雑誌や書籍を買う	42.7	49.5	26.8	47.6	43.1
	推しが出ているCMや広告の商品、コラボ商品を買う	41.6	49.5	17.9	50.0	44.8
	ファンクラブに入会する	36.1	40.4	19.6	40.5	41.4
	ゆかりのある場所へ行く	27.5	34.3	14.3	33.3	24.1
	SNSやブログで発信する	20.8	26.3	10.7	28.6	15.5
	推しとおそろいのものを買う	20.4	31.3	5.4	28.6	10.3
	グッズを作る	14.5	21.2	3.6	14.3	13.8
	投げ銭をする	8.6	9.1	3.6	21.4	3.4
	オフ会に参加する	7.5	7.1	0.0	23.8	3.4
その他	1.6	1.0	0.0	2.4	3.4	
推し活のメリット*	仕事や日常生活のモチベーションになる	71.4	71.7	50.0	83.3	82.8
	人生が豊かになる	69.8	82.8	44.6	83.3	62.1
	気持ちが癒される	65.9	66.7	51.8	85.7	63.8
	人生に充足感を感じる	60.4	59.6	39.3	78.6	69.0
	現実を忘れられる	37.3	43.4	17.9	50.0	36.2
	友人が増える・人脈が広がる	36.9	44.4	17.9	38.1	41.4
	アクティブになる	32.2	37.4	16.1	42.9	31.0
	知識や経験が増える	30.2	35.4	14.3	35.7	32.8
	行動範囲が広がる	28.2	33.3	8.9	42.9	27.6
	特になし	2.0	2.0	5.4	0.0	0.0
その他	1.6	0.0	1.8	2.4	3.4	

(*1) は、各項目における全体との差が+10ポイント以上のもの。

(*2) は、各項目における全体との差が▲10ポイント以下のもの。(*3)*は複数回答の設問。

次いで両立層が22.7%、非積極層が22.0%、こっそり層が16.5%となった。

新入社員の推し活事情の設問について、4つのタイプ別に見ると、推しのジャンルについては、こっそり層は「アニメ・マンガ・ゲーム」、両立層は「ミュージシャン・アーティスト」、非積極層は「K-POPアイドル・韓流俳優」の回答率が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

推し活費用について、「1万円以上」との回答は、こっそり層が59.6%で最も高くなっている。

具体的な推し活については、「その他」を除く14項目のうち、非積極層は12項目が全体よりも10ポイント以上低くなっている。

推し活のメリットについては、「特になし」と「その他」を除く9項目のうち、こっそり層は7項目が全体よりも10ポイント以上高くなっている。一方、非積極層は全9項目が全体よりも10ポイント以上低くなっている(図表21)。

(9) 推しや推し活に関する意見

「推しや推し活について、あなたの思いや意見があればご記入ください(自由記述)」と尋ねたところ、右のような回答が寄せられた(図表22)。

5 総括

今回、将来就きたい地位において「一般社員志向」が初めてトップとなった。就職先の選択基準において「休日・勤務時間」が同じく上昇傾向にあることや、働く目的において「収入を得て安定した生活を送りたい」およ

び「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」が上位であることも踏まえると、仕事は人生の一部にすぎず、出世よりも安定を重視するという価値観の高まりがうかがえる。

一方で、「一般社員志向」を選んだ理由としては、「責任を持つのが怖い」「人の上に立つのが苦手」「スキルアップできる自信がない」といった不安の声が多く聞かれた。企業には、社員が適性や能力、成長に対し自信を持てるような環境づくりや、責任ある立場に対するネガティブイメージの払しょく、社員がプライベートを大切にしつつ自身の意向に応じてキャリアを選択できる仕組みづくりがいつそう求められる。

トピックスでは新入社員の推し活について調査した。それによると、現在推しがいる新入社員の割合は66.7%

に上った。推しの対象としては「アニメ・マンガ・ゲーム」が最も回答率が高かった。

現在推し活をしている新入社員は42.5%となり、「以前していた」を含めると、半数以上が推し活の経験があるという結果となった。推し活経験のある新入社員のうち、7割超が「推し活のために有給休暇を使いたい」および「仕事が忙しくても推し活を続けたい」と回答した。「会社の人と推し活をしたい」についても6割弱が「あてはまる」と回答した。

また、推し活のメリットとしては、「仕事や日常生活のモチベーションになる」が最も高くなった。

今年の新入社員の多くに推しがあり、充実した毎日を過ごすために欠かせない存在となっていることが分かっ

た。推し活に寛容な職場づくりは、社員のモチベーションを高めたり、社員同士のコミュニケーションを円滑にしたり、会社へのエンゲージメントを高めたりする助けになりそうだ。一方で、推し活をしていることを知られたくない「こっそり層」も一定数存在しており、場合によっては、あまり深く踏み込まないという距離間の見極めも必要になってくるだろう。

- (注1) 質問項目同士の相関関係から潜在変数(因子)を抽出する分析手法。
(注2) 質問項目と各因子との相関の程度を表す。
(注3) 因子ごとの各サンプル(回答者)のスコアを表す。
(注4) データの特徴が似ているサンプル同士をグルーピングする分析手法。

(2024.6.4)

OKB総研 調査部 梅木 風香

図表22 推しや推し活に関する意見(推し活経験別・一部抜粋)

推し活を現在している・以前していた

- * 楽しい。
- * 生きがいになる。
- * 推しは最高の癒し。
- * 仕事のモチベーションになり、ストレスの解消になると感じます。
- * 推しの幸せは私の幸せです。
- * 深く親しい友人を作ることができる。
- * 他人に迷惑をかけない範囲で全力で楽しみたい。
- * 仕事と両立して行いたい。
- * 推し活って引きますか?その人を見る目は変わりますか?
- * 夢中になりすぎて、本来豊かになったり楽しいモノが逆にしんどくなった事があったので、自分のペースを忘れずに上手く付き合っていけるようにしたいと思います。
- * 推しがいるから、今生きてると言っても過言では無いです。もし、仕事のせいで推し活が出来ない、となるのであれば仕事をやめてしまってもいいと思えるほど熱い気持ちを抱いています。少しでも、推し活のことを理解していただける職場を探して働く方がよっぽど楽しく、仕事も推し活をすることもできるのではないかと考えています。

推し活をしたことがない

- * 「推し」と呼べるほどに何かに熱中できる事はいい事だと思う。「推し活」をしている人が楽しそうで羨ましく思う。
- * 推し活はプライベートが充実してる感じがしてとてもいいと思います。
- * 働く意味を見出せる良い活動だと思う。
- * 推し活が生きがいになって頑張っている人がいると思うので、いいと思う。
- * 推しを見つけない。
- * スマホでよく見る方はいるが、足を運んでまで会いたい人はいない。
- * 出費がすごそう。
- * 私はあまり好きではありません。
- * 推しという存在にのめり込みすぎることには、あまり良い印象を感じないが、適度な推し活は自身の生活を豊かにするものであると考える。
- * 好きなことに全力を注ぐことはとても良いことだと思うが、それを他人に強く押し付け過ぎることは良くないと思っている。
- * 安易に「推し活」を推奨していく今のメディアのあり方などに疑問はある。豊かさがあるのは否定しないが、自分自身の人生よりも関係のない他者の人生を応援することを過剰に「良きこと」として消費していく危険性は、推す側推される側共にあると思う。バランスが大切では。